

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-2 自然とのふれあいの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 自然環境課長 齋藤晃大 電話番号 0852-22-5346

事務事業の名称	隠岐世界ジオパーク支援事業
目的	(1) 対象 隠岐世界ジオパークを訪れる人、隠岐世界ジオパークに関係する人 (2) 意図 平成25年9月に世界認定となった隠岐世界ジオパークの振興や活用推進を支援する
事業概要	①ジオサイトに関連する自然公園内のトイレ、休憩所、遊歩道等の整備を実施 ②隠岐独特の植生等の調査及び保全に関する普及啓発を実施 ③隠岐世界ジオパーク推進協議会が実施する人材育成、情報発信、調査研究等に係る運営費を支援 ④隠岐世界ジオパークの活用推進に向けた検討を実施

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		1.00	1.00	1.00	
式・定義	隠岐ジオパークの世界ジオパークネットワークへの加盟承認及びその継続	実績値	0.00	0.00	1.00	1.00		
		達成率		0.00	100.00	100.00		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00	0.00		
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	168,760	155,257
うち一般財源(千円)	168,760	155,257

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○ジオサイト整備が計画的に進展
 ○学校や公民館でのジオパーク学習会の開催、小学校における親子活動機会の増加、隠岐高校での学校科目としての「隠岐ジオパーク探究」の実施、隠岐水産高校での海岸清掃活動とジオパーク講座の開催
 ○外国人観光客の増加：隠岐地域での外国人(欧米)延べ宿泊者数…H25年：15人→H26年：124人
 ○隠岐への入込客数はほぼ横ばい

6. 成果があったこと（改善されたこと）

○隠岐地域における機運の上昇
 ○隠岐を訪れる外国人観光客の増加
 ○地元の資源を活用・工夫して活性化を図る新しい動きの増加

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

○隠岐への入込客数はほぼ横ばい

②困っている状況が発生している「原因」

○隠岐世界ジオパークの認知度がまだ低い
 ○地元の住民や事業者が観光客に魅力を伝える取組みがまだ十分でない

③原因を解消するための「課題」

○隠岐世界ジオパークの認知度を上げる取組みの強化
 ○地元の住民や事業者が観光客に魅力を伝える取組みの強化

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

以下の分野を柱とする具体的な事業・計画・目標の設定と実施を行う
 ○地元の機運醸成…ジオパーク講座、ジオパーク検定など地元での学習機会の充実
 ○観光客に魅力を伝える取組み…有償ガイドの養成、体験プログラムの具体化、映像・展示物の充実
 ○隠岐世界ジオパーク推進協議会の体制強化…調査研究のための専門的人材の配置、協議会の法人化の検討
 ○施設・設備の整備…観光客にとってのビジターセンター、ガイダンス、人材育成機能を持つ拠点施設を各島に整備、統括的な機能を持つ中核機能を整備
 ○旅行商品の企画造成など観光振興に結び付ける取組み

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）